

医用画像分野におけるAI開発・活用の推進に向けて「医用画像通信技術研究組合」を設立

医用画像通信技術研究組合

国立大学法人東京大学

ソフトバンク株式会社

ヤフー株式会社

株式会社クリプタクト

～ 医用画像データを安全に流通させ、AI開発に必要なデータの提供を目指す ～

国立大学法人東京大学（所在地：東京都文京区、総長：藤井 輝夫、以下「東京大学」）、ソフトバンク株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 兼 CEO：宮川 潤一、以下「ソフトバンク」）、ヤフー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 社長執行役員 CEO：小澤 隆生、以下「Yahoo! JAPAN」）および株式会社クリプタクト（本社：東京都新宿区、代表取締役：斎藤 岳、以下「クリプタクト」）などは、CT検査やMRI検査などの医用画像分野におけるAI（人工知能）開発・活用の推進を目的に、「医用画像通信技術研究組合」を2022年5月20日に設立しました。

医用画像通信技術研究組合は、経済産業省などが大学や企業などによる研究成果を迅速に事業化するために策定したCIP（技術研究組合）制度（Collaborative Innovation Partnership制度）を活用した共同研究組織で、東京大学やソフトバンクなどが設立したAI研究機関である「Beyond AI 研究推進機構」における取り組みの一環として研究開発を行います。

医用画像を用いた医療・ヘルスケア分野では、各種疾患の診断支援などにおいてAIの活用が期待されていますが、個人情報の保護などの観点から、AIの研究開発に必要な医用画像データが市場に十分に流通しておらず、研究開発機関や企業などが高精度なAIを開発することが困難であるのが現状です。このような背景の下、医用画像通信技術研究組合は、患者の同意を得て、医用画像データを安全に取得してAIの教師データを作成し、AI開発に取り組む研究開発機関や企業へ提供するための医用画像運用プラットフォームの構築と、それに必要な医用画像の匿名化技術やブロックチェーン技術、教師データの作成技術などの研究開発に取り組めます。

具体的には、患者が自身の医用画像データを自由に閲覧・管理できる専用のアプリケーションを提供し、匿名化された医用画像データを患者自身が、医用画像運用プラットフォームにアップロードできる仕組みを構築します。医用画像通信技術研究組合は、アップロードされた医用画像データからAIの教師データを作成し、研究開発機関や企業へ試験的に提供して、医用画像分野におけるAI開発に有用なデータであるかを検証します。医用画像データの送受信においては、データを暗号化した上で正確な取引履歴の管理と大容量通信が可能なクリプタクトのブロックチェーン技術を活用することで、高いセキュリティを担保します。

なお、患者は専用のアプリケーションを通して、自身の医用画像データを所有し、いつでも確認することが可能なため、健康への意識を高めることによるヘルスケア効果への貢献も期待できます。

【各者の役割】

東京大学

医用画像の匿名化技術やAIの教師データの作成技術に関する研究開発、医用画像運用プラットフォームおよび患者用アプリケーションの開発・検証

ソフトバンク

医用画像運用プラットフォームの基盤となる通信ネットワークに関するノウハウの提供、医用画像運用プラットフォームの検証・実証実験の支援

Yahoo! JAPAN

研究開発成果の社会実装および事業化に向けた支援

クリプトクト

ブロックチェーン技術の開発・検証